



市民活動・ボランティア活動情報誌

2025年3月13日

No.214

福祉よこはま

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 (略称: 横浜市社協)

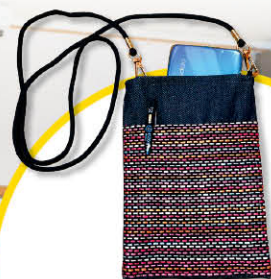


「福祉よこはま」は、横浜市が編集に協力しています

特集

福祉施設が行うまちづくり

～社会福祉法人が行う地域における公益的な取組～



福よこクイズプレゼント

スウェーデン^{しゅう}刺繍の
スマホホルダー
→詳しくは裏表紙へ



苗場保育園が行う子育てサロン「ぼっかぼか」
下和泉住宅自治会館にて(1月17日撮影)
→詳しくは特集で

もくじ

福祉の仕事 保育園の保育士 p4

ボラセン情報 災害時、必要な支援が必要な人に届くように p5

市社協情報 「令和6年 能登半島地震・奥能登豪雨」被災地支援 ... p6

福祉よこはま最新号と
バックナンバー▶

福祉よこはま 検索



福祉施設が行うまちづくり

～社会福祉法人が行う地域における公益的な取組～

取組紹介 泉区

1 子育てサロン「ぽっかぽか」

子育て中の親の孤立予防と地域での交流を目的に苗場保育園(社会福祉法人いずみ苗場の会、以下「園」)が月3回、下和泉住宅自治会館で実施しています。保育士が親子を迎え、子どもは自由に遊び、親は気分転換の時間になっています。

お昼近く、園が“第四の食事”と呼ぶおやつを保育士と親と一緒に準備します。食べることの大切さを知ってもらう機会になっています。

この日のおやつはかためのライスバーガー
子どもの咀嚼(かむ)力を
促すねらいがあります



ゆったりと話ができる
時間です



のぼり旗が目印です



去年引っ越してきて、地域の人から
このサロンを教えてもらいました
下の子はまだ小さいので、ここでは自由に
上の子を遊ばせることができますと思います

今回が初めての参加です

参加した
みなさんの話

保育士さんから、
子どもの食事や
トイレトレーニングに
ついてアドバイスを
もらいました

上の二人の子を含めて
7年近く通っています
ここで知りあったママと
子育ての悩みを話しあうなど
仲良くしています

ネットワークが広がっています

身近な地区 施設連絡会 ～下和泉・富士見が丘地区の取組～

災害時に福祉施設で何ができるかをテーマに集まった協議体が発展し、下和泉・富士見が丘地区の施設連絡会が発足しました。現在、苗場保育園のほか18施設が参加し、給水やトイレ、休憩場所などを日頃から提供する活動を実施しています。地域貢献活動についての理解や取組、さらに施設同士や施設と地域との顔が見える関係づくりを目指しています。

下和泉地域ケアプラザも
協力しています

下和泉地域ケアプラザ▶
生活支援コーディネーター 木村聡一郎さん



ここに施設があって良かった

賛同してくれる法人や企業が増えるにつれ、“いざ”という時は「それぞれができることで活動する」という方向性が固まっていきました。日頃も災害時も、「この施設やあの企業があって良かった」と、地域の人はもちろんメンバー同士もそう感じることで存在になりたいと思っています。

下和泉・富士見が丘地区施設連絡会発起人▶
泉サポートプロジェクト会長
社会福祉法人たちばな会理事長
特別養護老人ホーム 天王森の郷施設長
鈴木啓正さん



保育士による自治会館での子育てサロンや、介護のプロが教える講習会など、社会福祉法人が行う地域における公益的な取組が広がりを見せています。既存のサービスや制度に加え、福祉施設ができることを活かして地域に貢献するために、施設同士の横の連携を進めている泉区の取組を紹介します。

社会福祉法人が行う 公益的な取組とは

平成28年改正の社会福祉法において、社会福祉法人の公益性・非営利性を踏まえて法人本来の役割を明確化するため、「地域における公益的な取組」の実施に関する責務規定が設けられました。既存のサービスや制度に基づく事業に加えて、施設それぞれの機能や資源を活用して多様な取組が行われています。

自治会館で子育てサロンを 実施している保育園の思い

保育園を飛び出して、自治会館でサロンを行うことで保育園と親御さんとの信頼関係が生まれるきっかけになると思っています。自治会館で出会う地域の人も一緒になって、子どもの成長を見守ってくれるというのは子育て中のお母さんやお父さんにとって心強いと思います。

家では子どもと親だけで過ごしている親子もいるので、ここでは交流も楽しんでもらいたいです。

子どものけんかは成長の証。「子どもの気持ちになって接すると楽よ」とお母さんに話しかけます。



▲苗場保育園
ほんだ
園長 本田りえさん



▲苗場保育園
たかみ まりこ
保育士 高見真理子さん(左)、川崎敬子さん(右)

2 介護のプロが教える 「在宅介護講習会」

特別養護老人ホーム天王森の郷(社会福祉法人たちばな会)は平成13年の開所時から地域とのつながりを重視し、「在宅介護講習会」を実施しています。講師役には天王森の郷の職員をはじめ地元の薬局などの協力を得て、認知症予防体操や災害備蓄食品、くすりの話など幅広いテーマで開催しています。



特別養護老人ホーム天王森の郷にて

区域

泉サポートプロジェクト

泉サポートプロジェクトは泉区の福祉施設や企業などが連携し、地域貢献の一環として、地域活動の支援や困りごとを解決する取組です。令和7年2月にホームページを開設しました。

地に足を付けた取組を

持ち味を活かす考え方は施設連絡会と同じです。例えば「福祉車両を活用した外出支援」では、ひとつの法人が車両を提供し、もうひとつの法人からは運転・送迎スタッフが参加しています。**頑張りすぎず、今あることを活かしてできることをする。**それぞれにできることを続けていけば、単発の取組で終わることはありません。

泉サポート
プロジェクト
ホームページ



ホームページで
活動実践例を
紹介

約60法人・
企業などが
参加し取組を実施



泉サポートプロジェクトホームページ

この記事に関する
問い合わせは

- 横浜市社会福祉協議会
- 泉区社会福祉協議会
- 下和泉地域ケアプラザ

企画部企画課 ☎045-201-2090
☎045-802-2150
☎045-802-9920



保育士

苗場保育園で働く

あねざき

姉崎 めぐみさん に聞きました

自分がしてきたことを、子どもたちの成長を通して感じるができる仕事

この仕事を始めたきっかけ 子どもの頃に近所の年下の子と遊んでなつかれたり、頼りにされたりしたことが嬉しくて、小学校卒業の頃には保育士になるという夢を持ちました。専門学校で保育士資格を取り、託児所を開いていた時期もあります。その後、苗場保育園に移り、7年目になります。

日々の仕事 保育園に来て笑わない日はないというくらい、毎日楽しく過ごしています。担任だった頃は固定のクラスだけでしたが、主任となった今はいろいろな年齢別のクラスに入っています。保育士同士のつなぎ役を担うことや、保護者との対話を大切に、細かな話も職場で共有しています。

心がけていること 子どもの気にかけてほしいというサインをうまく受け止めることができず、悩むこともありました。わざと素っ気ない態度を取る子がいましたが、毎日、根気よく話しかけたところ、その子の方から遊びに誘ってくれるようになりました。何があっても、いつも子どもたちの味方でいたいと思っています。

喜び・やりがい 子どもたちはよく大人を見ていて、言葉や行動を真似します。自分より年下の子に靴を履かせてあげたり、面倒をみてあげたりしますが、それは自分が大人からしてもらった経験があるからです。子どもが年齢とともに成長していく姿を目の当たりにできるのが何より楽しく楽しみです。

この仕事に興味のある人へ 子どもとの関わりの中で、自分で気づいて、どうしたら良いかを考えることが大切です。日々の積み重ねから、自分らしい保育が見えてくるようになります。子どもたちの成長を見守り、育ちあえる仕事です。

保育士(国家資格)

保育士の登録をし、専門的知識や技術で、児童の保育や、保護者に対して、保育に関する指導をする仕事です。

苗場保育園

しもいづみ

- 社会福祉法人 いづみ苗場の会(泉区下和泉1丁目)
- 昭和60年開設 ● 0～5歳：定員68名
- 平日7時から20時

子育てサロン「ぽっかぽか」(2ページ)のほか、園庭開放や子育てに関する相談・講座・交流を実施しています。



◀ 子どもたちからは「あね」と呼ばれています



園長をはじめ支えてくれる先輩がたくさんいます

福祉人材に関する情報

かながわ福祉
人材センター



ホームページ▶

横浜市内の
介護人材
関連情報



ホームページ▶

広告

福祉保健および関連分野の専門図書館です。図書・資料・専門雑誌・会報紙・広報誌・視聴覚資料の閲覧・視聴ができます。福祉や医療に関わるマンガも要チェック!

情報資料室
ウィリング横浜11階

【開館時間】
火曜～土曜 9～21時
日曜・月曜 9～17時

【休館日】
毎月第2金曜日、年末年始 ※臨時休館あり

【利用登録】
神奈川県内在住・在勤・在学の方

■ 問合せ：ウィリング横浜 情報資料室 ☎045-847-6677
詳細はWEBサイトへ! 🔍 ウィリング横浜

SCAN ME

蔵書検索システムで探している本をチェック!

福祉保健研修交流センター
ウィリング横浜

京急・地下鉄上大岡駅 徒歩3分

「ZiM」公式アカウント登録

LINE

誰かに聞いてほしい悩み
こころの相談室
ひとり抱えていませんか?

【対象】
①横浜市内在住・在勤の社会福祉事業所等で働く方
②民生委員・児童委員等地域で福祉関係の仕事をしている方、①②の関係者

こころからのSOSを
無視せずに話してみませんか。
内容は仕事だけではなくどんな事でも大丈夫です。
公認心理師等の資格を持ったカウンセラーが
皆さんの相談にのります。

相談予約 ※祝日・年末年始を除く
☎045-847-6688

オンラインでも日程仮予約ができます。
詳しい相談の流れは右記の
二次元コードよりご覧ください。

相談は無料です

災害時 必要な支援が 必要な人に届くように

被災した人たちの生活再建には、行政、社会福祉協議会、地域住民、NPOや企業、ボランティア団体などが連携して支援を行うことが求められます。

災害時、必要な支援が必要な人たちに届くよう、日頃からさまざまな団体が情報を持ち寄り、関係づくりや訓練をすすめています。



それぞれの強みや役割を活かした連携・協働

災害時に **被災者の困りごと・ニーズ** に応えられるように

NPOや企業、
ボランティア団体など

行政

自治会や町内会等、
地域住民同士の
助け合い

災害ボランティア
ネットワーク

お互いの情報共有や調整が大切

市・区社会福祉協議会

- 横浜市災害ボランティア支援センター
- 各区災害ボランティアセンター

〈取組例〉

横浜青年会議所との協定

横浜市社会福祉協議会は、災害発生時に、効果的な被災者支援活動を行うために横浜青年会議所と人的、物的支援の協力に関する協定を締結しています。

横浜災害ボランティアネットワーク会議について

阪神淡路大震災での支援活動経験を活かし、横浜での災害に備え、減災防災活動を行う、市内60団体が加入している組織です。

災害時にスムーズな情報のやりとりができるよう、平常時から各区災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練に相互参加し、運営支援とボランティアコーディネートの充実を図っています。また、他都市の災害ボランティア団体との交流を深め、“いざ”に備えています。

ホームページは
こちら



連携・協働に向けて情報共有会議の訓練を実施

災害時は支援に関わる団体等が集まり、それぞれの活動状況と支援課題を共有するために**情報共有会議**が行われます。会議を通じて被災地の状況が整理され、地域のニーズに即した活動が実施されています。

市・区社会福祉協議会では災害時に必要な支援が必要な人に届くよう、日頃から災害ボランティアセンターの設置・運営訓練や情報共有会議の訓練などを実施しています。



訓練(オンライン)の様子



横浜市ボランティアセンターより

災害時は支援にあたる地域住民同士、団体同士の助け合いがとても重要になります。

地域で暮らす住民の皆さんも普段から顔の見える関係をつくっておくことで、災害時や困ったときに“助けて”と声を掛け合うことができます。ボランティアセンターでは、今後も地域の皆さんや、さまざまな団体と日頃からのつながりづくりをすすめています。

この記事に関するお問い合わせはこちら

横浜市
ボランティアセンター
☎045-201-8620
ホームページはこちら▶



「令和6年 能登半島地震・奥能登豪雨」被災地支援

全国社会福祉協議会を通じて応援要請を受け、石川県の災害ボランティアセンター（以下、「災ボラセンター」）の運営支援に職員を派遣しました。（令和6年2月～12月 合計18名）

元日の地震や9月の豪雨により、道路が寸断されるなど被害は甚大でした。派遣職員も、住民からのニーズ（家財道具の運び出しや泥出しなど）の聞き取りや、全国から集まったボランティアのコーディネートなど、災ボラセンターの支援を行いました。



▲家具を運びだすボランティア



▲土砂崩れの様子



災ボラセンターに虹がかかっていました

派遣職員の声

“地元愛”が有事の際の大きな力になる！

この派遣を通して珠洲市のことをとても好きになりました。どこかの誰かではなく、そこで出会ったみなさんの顔が思い浮かぶようになったからだと思います。そして、珠洲市のみなさんの、「珠洲が好き」「珠洲に住み続けたい」という思いを、日々感じました。

私たちの日頃の業務のなかでも、「横浜が好き」「横浜に住み続けたい」という、まちへの思いを築くことが、有事の際の大きな力になると思います。

いつかのために、いまできることを日々意識して普段の業務に生かしていきたいと強く感じました。

賛助会員のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。令和6年10月12日～令和7年1月10日受付分

個人

●石田 隆 様

団体

●公益財団法人 介護労働安定センター 神奈川支部 様

【問い合わせ】

横浜市社会福祉協議会 総務部
☎045-201-2096

賛助会員・
賛助会費の
ご案内



みんなのきもち あいがとう

みなさまからの寄付は、地域の助けあい、
支えあい活動のため、有効に活用させていただきます。



～寄付の取組紹介～

家電・家具・生活用品等の提供の仕組み（メモリーズ株式会社 横浜支社様）

メモリーズ株式会社横浜支社は遺品整理・福祉整理を行っている企業です。同社から「まだ使用ができる家電等を有効活用できないか」との相談をいただき、各区社会福祉協議会や福祉施設などを通じて、生活にお困りの方へ無償で提供する取組を実施しています。

これまで、児童養護施設を退所し自立生活に向けて準備する方や一人暮らし高齢者に提供いただいています。

「一人暮らしをはじめて何もなかった部屋が、ようやく生活ができる状態となりました」や「ケアマネジャー・訪問介護員の方もご自宅での洗濯の支援ができるようになり喜んでます」などのお礼の声が届いています。



寄付者のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。令和6年10月1日～12月31日受付分（受入順）

金銭寄付者

〈個人〉

- 山崎 泰則 様
- 菅野 暁良 様
- 深澤 幸子 様
- 吉村 春美 様
- 井上 健治 様・井上 早苗 様

〈企業・団体〉

- 横浜信用金庫 理事長 春日 隆 様(3件)
- 株式会社 暮らしの友 横浜営業所 様
- 株式会社 暮らしの友 横浜貢献室 様
- 株式会社 まるやま 様
- ふれあいチャリティバザー実行委員会 様(2件)
- 汲沢電設 有限会社 様(3件)
- 株式会社 創健社 様
- KLA Foundation 様

- 日本ハムマーケティング 株式会社 南関東販売部横浜営業所 様
- 株式会社 バンガード 様
- 明治大学校友会 横浜地域支部 様
- 宗教法人 真如苑 様
- メモリーズ 株式会社 様
- 横浜市社会福祉センター 利用者一同 様
- 公益財団法人 神奈川霊園 様
- 横浜市医師会 聖灯看護専門学校 様
- 横浜冷凍 株式会社 様
- 〈匿名寄付〉(40件)

物品寄付者

〈企業・団体〉

- 京王建設横浜 株式会社 様
- OZアカデミー女子プロレス 様

- ロジスティード「まごころ基金」・ロジスティード 東日本 株式会社 様
- 株式会社 セブンイレブン・ジャパン 様
- 千代田化工建設 株式会社 様
- 株式会社 横浜DeNAベイスターズ 様
- メモリーズ 株式会社 様

ヨコハマ寄付本寄付者

〈企業・団体〉

- 横浜市北山田地区センター 様(2件)
- 横浜市富岡東地域ケアプラザ 様
- 〈横浜市社会福祉協議会運営施設等〉
- 老人福祉センター 横浜市コートピア青葉 横浜市もえぎ野地域ケアプラザ 様
- 横浜市港南区社会福祉協議会 様
- 横浜市社会福祉センター 利用者一同 様
- 〈匿名寄付〉(44件)



ヨコ寄付

制度では対応できない課題の解決を目指します

ホームページ▶



寄付と遺贈の相談窓口

ホームページ▶



駅近！ 便利な貸会議室のご案内

目的や立地に応じて使い分けられる2施設
福祉・保健関係者を対象とした施設ですが、一般の方もご利用いただけます

福祉保健研修交流センター ウィリング横浜

上大岡駅
徒歩3分

多様な貸会議室をご用意しています

4～240名まで収容可能な研修室、実習室、和室など30室を備えています。打ち合わせ、研修、会議と幅広い用途でご利用いただけます。ぜひご活用ください。

※有料・要事前予約



机・椅子のレイアウト、
付帯設備の設置は
当施設が行います

車いす、介護ベッドなどを
備えた介護実習室



詳しいご利用についてのお問合せは

福祉保健研修交流センター ウィリング横浜

TEL: 045-847-6666 FAX: 045-345-0799

〒233-0002 港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー内

開館時間: 9:00～21:00

休館日: 年末年始、設備点検日

インターネットで
空室検索ができます

ウィリング横浜

検索



横浜市社会福祉センター 会議室・ホールを使ってみませんか？

桜木町駅
徒歩2分

会議室やホールなどの貸出を行っています。会議室は最大108名まで、ホールは298名まで収容可能。平日は夜9時までご利用いただけます。ぜひご活用ください。

※有料・要事前登録

ホールは、研修会や講演会などの会場として人気です



詳しいご利用についてのお問合せは

横浜市社会福祉センター

TEL: 045-201-2060 FAX: 045-201-6116

〒231-8482 中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター内

開館時間: 平日9:00～21:00 (土日祝日は17:00まで)

休館日: 毎月最終月曜日、年末年始、設備点検日

インターネットで予約・空室検索ができます

横浜市社会福祉センター

検索



指定管理者: 社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

広告

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

令和7年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
コチラから
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料（1名あたり）

団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
賠償責任	地震・噴火・津波による死傷		×	○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	
年間保険料			350円	500円

<重 要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も左記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉

損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00～17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30～17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

みんなの声



前号の感想

前号の内容

- 特集
いぞう
遺贈寄付もヨコハマで、すぐヨコヘ。
- 福祉の仕事
社会福祉協議会職員
- Let's tryボランティア
あなたが安心してボランティア活動に参加できるように

遺贈寄付、初めて聞きました。とても有意義な使い道だと感じました。周りにそういう方がいたら提案したいと思います。

(神奈川区 S)

遺贈寄付という言葉は初めて聞きましたが、Q&Aに内容がわかりやすく書いてありました。故人の生前の気持ちを尊重できる良い制度だと思います。

(泉区 あらた)

ボランティアセンターは、これからボランティアを始めたいがどうすればよいか分からない人にとって、心強い存在だと思いました。私も何か楽しみながらできることはないか、考えてみたいと思います。

(南区 R.Y)

ボランティア活動をはじめて2年目になります。無理なく、できる時間に参加しています。先輩のコツを参考に長く続けていきたいです。

(鶴見区 桜)

「福祉の仕事」ヨコ寄付という仕組みを興味深く読みました。こうした取組を広く伝えていただきたいです。横浜信用金庫の寄付本BOXを知り、気軽に本が寄付できるようになりました。

(港北区 きゅりっば)

みんなの声は「福よこクイズ」に寄せられた感想・ご意見を掲載しています。

クイズに答えて、プレゼントにご応募ください /

福よこ クイズ

ご感想もお待ちしております!

Q (ボラセン情報) 災害時に、必要な支援が必要な人に届くように、さまざまな団体が〇〇や役割を活かして、連携・協働をすすめています。

今号のプレゼント

スウェーデン刺繍のスマホショルダー

しゅう

だいむらちょう

緑区台村町にある就労継続支援B型JOBPRICO(ジョプリコ)はハンドメイド雑貨や地産地消サンドイッチの製造・販売などを行っている障害福祉サービス事業所です。スマホショルダーは一針一針心を込めて刺繍しています。刺繍糸はシルク100%で光沢があります。



ポケット有り

横13cm×縦19cm／ショルダーの長さ1m



着用イメージ

デザイン・色はおまかせください

ジョプリコ
ホームページ▶



ジョプリコ
Instagram▶



応募方法

はがき・FAX・Eメール・応募フォームにて、次の項目をご記入のうえお送りください。

項目

- 1) 記事の感想・ご意見
- 2) 福祉よこはまの入手方法
- 3) 福祉よこはまの入手回数
- 4) 「みんなの声」次号掲載時の氏名の掲載可否
(匿名希望はイニシャルを記載)
- 5) クイズの答え
- 6) 氏名(ふりがな)
- 7) 年齢
- 8) 電話番号
- 9) 郵便番号・住所

ご感想のみの方もお待ちしております。

応募先

〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1
横浜市社協「福よこクイズ」係
FAX 045-201-8385
Eメール
fukuyoko@yokohamashakyo.jp

「福よこクイズ」応募フォーム▶



【個人情報取扱】

応募に関わる個人情報については、当選者への発送及び福祉よこはま紙面作成の参考にのみ利用させていただきます。

前号213号「福よこクイズ」の答えは、「寄付」でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

編集後記

(福祉の仕事) 子どもは大人のすることを真似して育ちます。大人がかけてくれた優しい言葉や、してくれた嬉しいことは、子どもたちの記憶にとどまり次へつなげていきます。子どもたちが優しさをたくさん受けて、たくましく、のびのびと育つように私たちができることを考えたいと思いました。(みんなの声) 前号のボランティア活動の記事に、たくさんの感想を寄せていただきました。ボランティアをやりたいが始め方が分からなかったというお声が多く、きっかけさえあれば参加できると感じていただけたようです。興味がある方は、ぜひお近くのボランティアセンターにご相談ください。

「福祉よこはま」は、共同募金配分金の一部を活用して発行しています。

横浜市社協は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



ほら、よこはまはあったかい

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

〈発行〉
社会福祉法人 横浜社会福祉協議会
〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1
☎045-201-2090 FAX: 045-201-8385
Eメール: fukuyoko@yokohamashakyo.jp
URL: https://www.yokohamashakyo.jp

〈デザイン〉
株式会社 オールスタッフ
次号▶ No.215
令和7年6月発行予定